

令和6年 2月 8日

瀬戸内市議会議長

小谷 和志 様

瀬戸内市議会議員 成本 崇

政務活動費研修報告書

政務活動費を使用して、次のとおり研修活動をしましたので、その結果を報告します。

| | |
|-------------|--|
| 期 間 | 令和5年 8月 17日 ~ 令和5年 8月 18日 |
| 研修会名 | 公益財団法人全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所〈令和5年度市町村議会議員研修〉 「自治体予算を考える」 |
| 開催場所 | 全国市町村国際文化研修所 |
| 研修目的・ 内容 | 目的①：自治体予算の原則・制度、歳入・歳出予算に基本的事項やチェックポイントについて学ぶ。 目的②：財政診断をもとに、持続可能な財政運営方策について考える。 目的③：地方公会計の基本的事項を理解し、その活用について学ぶ。 二日間の講師 講師 武庫川女子大学経営学部 教授 金崎 健太郎 氏 ・講義 「自治体予算の原則」 予算の原則や編成の流れなどの予算制度を解説。予算書の読み方やその機能を学びました。 ・講義 「歳入予算の基礎とそのチェックポイント」 自主財源と依存財源、一般財源と特定財源などの歳入予算の基本的な構造や考え方を、予算計上にあたっての留意点などを含めて解説。 |



| | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・講義「歳出予算の基礎とそのチェックポイント」 歳出予算の基本的な構造と考え方を解説。 ・グループ討議 全国から参加の各議員が問題意識を持つテーマごとに分かれ、グループでの意見交換。 「歳出の効率化」に問題意識を持つグループで意見交換を行いました。 ・講義「財政の現状把握～地方公会計の活用～」 持続可能な財政運営のために、自治体財政の診断や分析の手法を学びました。また、地方財政の適正化・効率化に貢献する地方公会計に基本的事項をお話いただき、地方公会計の活用について学びました。 ・グループ討議／発表・質疑・まとめ 前日の意見交換の内容を各グループでまとめ、発表や質疑等を行い、受講者全員での情報共有を行いました。 |
| <p style="text-align: center;">所 感</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・当研修を参加しようとした動機は、市の財政状況がブレーキを踏むべき状況かアクセルを踏む状況かの判断について、自らの知見や判断基準の精度を高める必要があると感じていたからです。 ・講義は、基礎的な解説もありましたが、改めて原則の意義を知ることが今後の参考になりました。 <p style="margin-left: 20px;">例 会計年度は独立 その年度の歳出は、その年度の歳入を充当 ↓ 今の納税者から集めた税金を今の納税者に使うため</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予算の公開が義務付けられているが、市民に分かりやすくする工夫も必要だと感じました。 ・財政状況の把握のための指数の目安を知ることができました。将来の財政状況を相対把握（他の自治体と比較する）することを含め、市の財政をチェックし審査を行っていきたいと思います。今回の研修に満足することなく、更なる財政に関する知識の取得に努めていきたいと考えています。 |